

るうてる法人会連合総会

8.26～27 大阪教会

8月26日～27日、日本福音ルーテル大阪教会とホテル・ザ・ルーテルを会場に「第7回るうてる法人会連合総会」が行われた。はじめての関西開催で、るうてるホームを中心に、関西地区、大阪教会のご協力により、約120名の参加者で豊かな総会となった。



六甲病院緩和ケア病棟チャプレン・沼野尚美先生の基調講演にはじまり、宗教、学校、社会福祉の各法人、幼保連の代表者と、財政・人材・組織委員会の長が、前回総会の決議、要望の実施を踏まえた実践と課題の報告をした。

後半は、「失われた未来(いのち)をどう立て直すか？」をテーマに、それぞれの立場から発題が行われた。

協議の時間では、「るうてる法人会連合パンフレット作成」「出版計画」「教会推薦理事研修会開催」「教会と施設の交流プログラムの実践」「九州(学校卒業生、青年)から関東・関西の教会での受け入れ」などが承認され、法人会連合総会の隔年開催については継続審議となった。

(立野泰博 事務局長)

「縁の下の力持ち」

アワーミッションレポート 玉名教会

今回は九州教区、玉名教会です。教会の屋台骨であると共に「縁の下の力持ち」と呼ぶにふさわしい方々の登場です。

原稿依頼書を渡され改めて「教会の宝石を捜して」のコーナーを読んでみました。いろいろ考え思いをめぐらした結果、該当する人と言えば、教会や幼稚園で活躍している女性達のご主人ではないかと思った次第です。(坂本陽子)

結婚してやがて20年になろうとしています。正直保育士の仕事がかんなにもハードなものとは思っていませんでした。他人様の子どもを預かっているのですから、その責任も重大です。

がんばっている妻には、心から感謝しています。今後も体を壊すことのないようにしてもらいたと思いますし、私ももっと支援していかねばと考えています。いろいろなことがありますが、「一緒にがんばっていきましょう」という思いです。(上村)

妻：熊本教会会員 玉名ルーテル幼稚園勤務 / 夫：未信者

熊本市に在住している私は、玉名教会や幼稚園で活躍している女性たちを積極的に支えているわけではありません。しかし、「伝道」という意味において大きな働きをされていることに頭が下がります。

若き日に、藤田武春牧師から薫陶を受けた「クリスチャンスピリット」は還暦を迎えた今も、鮮明に脳裏に焼きついており、日々、私の社会的活動のモデルになっています。そういう私を妻はいつも支えてくれています。感謝です。(菅)

夫婦とも玉名ルーテル教会会員 / 妻：教会婦人会会員

本人も常々言っていることですが、「用いられることの感謝」の気持ちで心に浮かびました。幼稚園での子ども



玉名教会の礼拝の風景

もたちとのふれあいの様子を時々聞かせてくれるのですが、ほんわかと温かい雰囲気になります。本人だけでなく家族も幼稚園(教会)の働きのすばらしさを感じさせていただいています。(古島)

夫婦ともプロテスタント他教派会員 / 妻：玉名ルーテル幼稚園勤務

正直大変だなぁ……と思って見ている。体のことが心配で仕方がない。良く頑張ってるなぁ……と思う。

家庭のことを考えると、辞めて欲しいと思っているが、本人が好きなお仕事をしている姿を見ていると、それを取り上げるのは忍びがたい。見守ってやりたいと思っている。「側に居ないけれど、いつも祈っているよ。君と家族のこと。神に感謝」(三輪)

夫婦ともカトリック教会の信者 / 妻：玉名ルーテル幼稚園勤務

玉名教会のように、地方の小さな教会では、幼稚園と教会は切っても切れない関係にあります。家内は玉名ルーテル幼稚園に勤めていますが、幼稚園の働きそのものが宣教です。幼稚園の働きに従事しているご婦人たちに心から感謝申し上げます。(中島)

夫婦とも玉名ルーテル教会会員 / 妻：玉名ルーテル幼稚園勤務

2008年
10月
No.730

■発行所■
〒162-0842 東京都新宿区市谷砂土原町1-1
電話 03-3260-8631

日本福音ルーテル教会事務局広報室

■振替口座■
00190-7-71734

■ウェブサイト■
http://www.jelc.or.jp

■E-mail■
jelc@jelc.or.jp

■発行人■
徳野昌博 koho04@jelc.or.jp

■印刷人■
精文堂印刷株式会社 (定価1部40円)

CONTENTS

目次

- 1 | るうてる法人会連合総会
アワーミッションレポート
風の道具箱「花に色をつけた人」
- 2 | 牧師の声・信徒の声
LAOS 講座の学び
- 3 | 神の造られた世界 - 環境と聖書⑦
神学生寮の思い出
全国式文アンケートの集計から
- 4 | グローバルミッションイベント
ルーテル世界連盟会議
ディアコニアキャンプ、喜望の家
バーン先生派遣式、会議のお知らせ
インフォメーション
九州学院教員募集
変更のお知らせ

福音版

- 1 | バイブルメッセージ
「きぼう」の月
- 2 | 十字架の道行き
毎日あくしゅ⑦
谷センセイの 教育い・ろ・は⑦

園の道具箱

**花に色を
つけた人**

春に咲く花といえば、桜を思い浮かべます。ところが秋にも桜があります。「秋桜」と書いて、コスモスです。秋桜にはたくさん色があり、春の桜よりも華やかに感じます。この季節、秋風にゆれる桜を見に行きませんか。

花といえば思い出すことがあります。幼稚園の子どもが教えてくれました。「お花は自分の嫌いな色をつけているのよ。赤いお花は赤が嫌いな。黄色のお花は黄色が嫌い」。聞いているうち、どうしてそうなのかと考えました。

確かに嫌いなものを前面に出し、「あれもいやだ、これもいやだ」と言いながら生きていく私たちです。でも自己主張するほどではありません。また、「あれも好き、これも好き」と思えるほど積極的にもなれません。私には私の色があるのでしようか。勝手に自分で色をつけながら、私をアピールして生きていくのでしょうか。

その子は続けて教えてくれました。「嫌いなものがないから神様は見えないの」。神様の透明さが私たちを包んでくださるのですね。

(柿のたね)

<信徒の声> 教会の宝石を捜して

九州教区 唐津教会 信徒 **もり森 京子**



写真右が森京子さん

家族がほとんどクリスチャンで、世代では5代ということですが、いきさつから。

ハイ。母の受洗は、わが家のあり方を変えました。会話の内容、心のあり方、大き

それから家族の方々が、順々に受洗を？

「事」は、わたしの娘の幼稚園入園で始まりました。わたしの母が、これで教会に接するようになったのです。母は敏感で、手が器用で、料理名人。でも勝気で、精神的に不安定な所がありました。この世は、生きにくかったようです。

見えています。「わたしのような者が、生きていてよいのか」という気持ちで生きてい

夫は、インパール作戦の生還者で、地獄を見ています。

く言えば人が生きるというこの意味を、深くわが家の者に教えることとなりました。家族が福音につながるにも、歴史がありました。ついに、わたしの夫も洗礼を受け

何か家庭伝道での工夫があれば。洗礼を受けていな

その後の家族のあり方を。

ました。それが、母義理の洗礼後の生き方を見て、その変化に驚いていました。夫は死の一週間ほど前に、「わたしのような者でもクリスチャンにならせてもらって

みんな熱心な教会の奉仕者になりまし

その後の教会の話が

い夫やその他の家族への配慮に気を付けました。いつも礼拝後はすぐ家の夫に電話をいれました。教会での人間的な面を、家では決して話しませんでした。教会での楽しいことだけを話しました。

「事」が始まって60年ですが、離れている家族の絆は教会です

洗いが家族(家系)にもたらした恵みを。

一族は今、唐津にはいません。しかし、集まるとみ言葉の話、聖書や祈りやすべて教会伝道の話しになります。

牧師の声・信徒の声

この聖句に出会ったのは、大学4年生の頃、父が大病を患ったときのことでした。手術することにはなったものの、もしかすると手遅れかもしれないから覚悟をしておいてくれ、とお医者さんに言われるような状態です。大事な家族を失うかもしれないという恐怖、「どうして父が」という混乱、これから先どうなるのかという不安に、どうしても、気分は沈

みがちでした。ちょうどその頃、青年会の中に、ゴスペルデュオとして活動していた仲間がいました。その彼らの自作の歌の中で、この聖句が歌われていたのです。「いつも喜んでいなさい／絶えず祈っていよう／どんなときも／感謝していよう」……覚えやすいメロディに乗って、このフレーズが、すつと心に入ってきました。それから、父を見舞い

に行く車の中で、看病する母の代わり慣れない家事を手伝いながら、気づくとおまじないのよう

ら、そんな不思議な感覚でした。幸い、父は快癒し、私の家事の腕前もちよつとだけ上がり

ないときには、この言葉が難しく感じられることもありま

いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい。これこそ、キリスト・イエスにおいて、

神があなたがたに望んでおられること

テサロニケの信徒への手紙一 5章 16～18節

北海道特別教区 恵み野教会 牧師 **にしかわ あきこ 西川 晶子**

<牧師の声> 私の愛唱聖句



P2 LAOS講座の学び

『「信仰継承」について思うこと』 恵み野教会 西川晶子

恵み野教会の教会学校は、現在お休み中です。やはり、教会に来る子どもたちが少なくなったことが理由のひとつです。その中には、これまでの子どもたちが成長し、おとなの礼拝に移ったという面もありますが、LAOS講座第6号の中で言われる「エンジェル係数」は確かに小さくなっています。しかし、だからといってあまり悲観的にならないようにしたい

と努めています。もちろん、教会が子どもの声で溢れることは嬉しいことであり、目標です。

しかし「うちの教会には、こどもが〇人しかいない」という捉え方だけではなく、「うちの教会には、〇〇くんと〇〇ちゃんがいる」という見方もできます。少ないからこそ、一人ひとりを大切にできると思うのです。

先日行われた恵み野教会のバザーの中で、嬉しいことがありました。ある男の子が、小学校の帰りの会で「教会でバザーがあります、楽しいから遊びに来てね」とチラシを配って宣伝してくれたらしいのです。教会が楽しいところ、自分の居場所だと感じてくれていることは本当に嬉しいことですし、「教会全体が大きな教保」(第6巻 27頁)であることを実感します。

これから、恵み野教会でこれまで以上に大切にしていきたいと考えているのは「祈り」です。教会の礼拝、集会や行事の前後、また何よりも家庭で一緒に祈る中で、福音に生かされている大人の背中から伝わる何かを感じてくれば、と願っています。家族と一緒に祈るための「祈りのカード」などを作れないかと模索し始めているところです。



神の造られた世界 環境と聖書

太田 立男

第7回

レバノンスギが語るの は未来の地球の姿か!

「お前は海を越えて商品を輸出し／多くの国々の民を飽き足らせ／豊かな富と産物で、地上の王たちを富ませた。今、お前は海で難破し、水中深く沈んだ。……諸国の民の商人は／口笛を吹いて、お前を嘲る。お前は人々に恐怖を引き起こし／とこしえに消えさせる」
(エゼキエル書27章より)

紀元前3000年のシリアの周辺では、後に自生するレバノンスギなど豊富な木材を使った家具、象眼細工などが生産されていました。紀元前1000年頃にはレバノン山脈はげ山となり、その緑は現在にいたるまで回復せずこの地域では砂漠化が進んでいます。数千年にわたる長い時間をかけて崩壊が進んだ古代とはことなり、現代は加速した環境破壊が地球規模で生じています。

現代においても熱帯地域では過剰な木材の採取や大規模な農地開発によって日本の3分の2にあたる面積が失われています。私たちが身の回りには家具やノート、ティッシュペーパーといった木材を原料とする製品がたくさんあり、日本はその8割を海外特にアジア地域から輸入しています。最近ではバイオ燃料の原材料輸入のためにブラジルで大規模農地開発をするという商社もでてきました。木々は光をあびて、二酸化炭素を吸収し、酸素をだして豊かな地球をつくりあげてきました。自分たちの豊かさだけのために熱帯林という全世界共有の資源を枯渇に追いやっていく責任の一端をもつ日本の私たちがエ

ゼキエル書27章にあるように勇氣ある賛歌と批判の声をあげていくことが求められています。現実には、そのような声が小さいのも事実です。諸国の民に恐怖を引き起こさせ、あげくのはて嘲られて消えさせる民となりたくないものです。資源の少ない日本と言われますが、樹木という恵まれた資源を大切に、有効に利用していくことが求められています。レバノンスギのたどった運命は、地球の未来を先取りしているのではないのでしょうか。

「汝のライフスタイルを見直すことを正とせよ」
キリスト者環境十戒 第4の戒め



写真はイメージです / Photo: SXC Fran Flores

神学生寮の思い出

私が神学生寮に入つたのは18年前、ルーテル神大(現・ルーテル学院大)に入学した1990年の春でした。それから神学校卒業までの6年間、寮にお世話になりました。

寮での生活は共同生活ですから、寮生と対して、いつも外行きの顔を見せているわけにはいきません。当然、落ち込んでいたり、きや、悩んでいるとき、また怒りを鎮められないようなときにも、一緒に過ごさなければならぬわけですね。そんなときに、お互いを受

け止め合おうと努力することが、寮生活の良いところだったのではないかと思います。もちろん、いつもうまくいっていただけではありません。怒っている人に対して、こちらまで怒り出してしまったり、落ち込んでいるのを気にならないうちに、結局声をかけられなかったりということもたくさんあったと思います。けれども、そのようなことを通して仲間同士で向かい合いながら過ごした時間はとても貴重で、かけがえのない時間だったように思うのです。

そして、牧師になつた今も、落ち込んでいたり、怒りを鎮めることができないう方がいるときに、その方に向かい合おうと一生懸命になつている自分がいま、いつもうまくいくわけではないということもその頃とあまり変わらないうちに、成

みのり教会
浜名教会
刈谷教会

みうら ともお
三浦 知夫



長していかないということも感じるので、人と向かい合うという牧師の働きの第一歩が、神学生寮にあったのだと思います。

■募金活動にご協力ください■

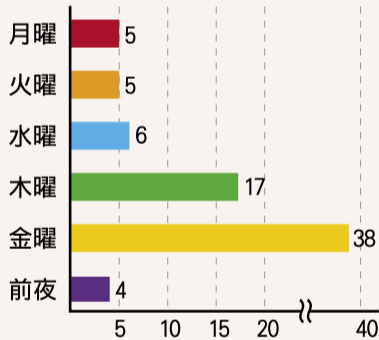
従来の寮棟を『ルターホール』と名称を変え大改修しました。この事業にご理解いただき、ぜひとも募金にご賛同、ご協力をお願いいたします。

募集期間 2009年3月まで
送金先 学校法人 ルーテル学院
取扱機関 郵便振替口座 00140-2171183
(所定の郵便振替用紙をご利用下さい)
銀行口座 三菱東京UFJ銀行三鷹支店
普通口座 4126089
名義 学校法人 ルーテル学院
【お問い合わせ】
ルーテル学院大学・神学校後援会 (0422-31-4611)
教会事務局 (03-3260-8631)

ルーテル教会の礼拝

全国式文アンケートの集計から

四旬節「聖週間の礼拝」



月曜から六日間連続で礼拝が行われている教会が2教会、以下五日間が3教会、三日間が1教会、二日間で11教会、一日だけが23教会でした。聖木曜日に17教会、聖金曜日に38教会で礼拝が行われています。今回は礼拝時間についてのアンケートは行いませんので、時間帯については分かりません。

なお、「復活前夜礼拝」は4教会で行われていることが分かりました。

聖週間独自の式文がないため、各教会が様々な工夫をしています。参考までに記しますと、教会の約半数が簡素化した型式を、その他通常礼拝式文⑤、テゼー共同体の祈り②、ルーテル学院大と共同②、地区または有志で作成②、JELC ウェブサイトから①、「礼拝と音楽」のバックナンバーから①、ルターの朝の祈り・夜の祈り①などがありました。

(続く)

グローバルミッション

イベント

7月18〜20日、アメリカ福音ルーテル教会が主催する年に一度のグローバルミッションイベントに、後藤由起牧師と共に招待され参加してきました。

アメリカ福音ルーテル教会は世界中に宣教師(信徒も含む)を派遣しています。会場となっていたウイスコンシン大学の体育館には宣教師派遣先の国々の名前入りの旗と大きな地球儀が置かれていま

した。

宣教師たちによる様々なワークショップや世界中の音楽を取り入れた礼拝などが行われ、地元の教会員や宣教師志願者など数百人が集まり、本当に賑やかな集いでした。自分

たちの教会が宣教師を派遣し、そしてそれを支えていくの、だとい



写真は会場の地球儀と関野牧師、後藤牧師

識を皆が持っている事を感じました。

日本福音ルーテル教会に派遣されている宣教師やJ3たちの中にも、この集会を通して宣教の道を選んで来た方々もいます。

(牧師 関野和寛)

ルーテル世界連盟

会議報告

2008年度のルーテル世界連盟の会議が6月25〜30日の日程でタンザニアのアルーシヤで行なわれ、とても内容の濃い会議になりました。

「溶けゆくキリマンジャロ山の雪」(写真上段左が1993年のキリマンジャロ山の雪、右が2000年。明らかに雪の量が減少しているのが分かる)をテーマに、環境・貧困問題に焦点を当てて会議が持たれ

ました。実際の貧困の現場やキリマンジャロ山を目的の当

たりにしつつの議論が進められ、とても内容の濃い会議になりました。

「溶けゆくキリマンジャロ山の雪」(写真上段左が1993年のキリマンジャロ山の雪、右が2000年。明らかに雪の量が減少しているのが分かる)をテーマに、環境・貧困問題に焦点を当てて会議が持たれ



右はマサイ族の讚美、左は会議の様子

からこそ肌で感じるものがありません。また礼拝ではマサイ族による讚美など

(牧師 関野和寛)

会議のお知らせ

常議員会

第23回総会期第2回常議員会が左記の通り開催されますので、議案のある方は、所属教区常議員会を経て、ご提出ください。

【日時】11月4日(火)〜6日(木)【会場】ルーテル市ヶ谷センター 以上
2008年10月1日 常議員会
会長 渡邊 純幸
書記 立野 泰博

九州学院

中学・高等学校 教員募集

学部・教科：普通科・国語科
職種：人数：准専任講師1名
採用期間 2009年4月1日〜
2010年3月31日
応募条件
①免許状取得(見込)
②教師としての適性と、
熱意を有する者
③キリスト教信者または
求道者
連絡先：九州学院
TEL 096(364)6134
TEL 096(363)2576
担当：池永 清

九州学院
TEL 096(364)6134
TEL 096(363)2576
担当：池永 清

変更のお知らせ

- 日田教会 〒877-0016 大分県日田市三本松2丁目3-10
*新会堂が隣接地にでき住居表記が変更になりました。
- さわらび幼稚園 (FAX)0966-62-2623
- 室園教会 (webサイト)http://www14.ocn.ne.jp/~murozono/

北軽井沢

ディアコニアキャンプ

8月14日から18日の第20回北軽井沢ディアコニアキャンプも無事終わりました。島田療育センターより、奥ちゃん、トツチンの2人、千葉福祉園よりおだちゃん、障がい者をケアしてください

キャンパーが男子3名(神学生の岡村さん、高校生の伊藤弘幸君、原田直明君)、女子3名(神学生の汲田さん、宣教師の奥様のクリスティ・ハンソンさん、原田真理子さん)、その他スタッフとしてチャ

ブレン 渡邊賢次先生、料理や買い物、おだくんの送り迎えをしていただいた橋本さん、熊本さん、保谷教会牧師平岡仁子先生、そして原田夫妻の6名で、合計15名のキャンプでした。

今年雨ばかりの毎日で牧場や遊園地には行けませんでした。が、わずかな晴れ間の散歩、アウトレットモールでの買い物、しゃれたレストランでの食事、お昼のバーベキュー、夜の花火など沢山楽しむことができました。

(保谷教会 原田積夫)

喜望の家を知ってください

献金の送り先 郵便振替口座 00940-2-95205 喜望の家



開設された当初から、釜ヶ崎で生活する日雇い労働者が抱えているアルコール依存症の問題に取り組んでいくこと、回復のためのプログラムが目指すのは、「自分を大切にすること、人生を楽しむ喜びと希望を見いだせるようになること、人と共に生きることを学ぶこと」です。

喜望の家は日本福音ルーテル教会西教区の大きな働きの一つとして活動しています。この活動は日雇い労働者の街釜ヶ崎で32年前ドイツ人宣教師ストロームさんによって始められました。

バーン先生派遣式

9月7日(日)、サウスカロライナ州エイケンにあるセント・ポール・ルーテル教会にて、ボブ・バーン牧師夫妻の派遣礼拝が執り行われました。派遣式では日本語による聖書朗読を佐藤牧師が担当しました。

バーン牧師夫妻は10月1日、来日され各教区で交換牧師として働かれます。



Information

■東海教区第35回信徒大会

日時：2008年11月3日(月) 午前10時〜午後2時30分
会場：静岡英和学院大学チャペル
テーマ：「ともに福音に生き、ともに恵みを分かち合うために」
講師：江口再起先生(東京女子大学教授)
【問合せ】東静岡地区宣教委員会 日本福音ルーテル静岡教会

■ルターホール改修・神学生寮設置のためのチャリティーコンサート

日時：2008年11月30日(日) 午後5時〜6時30分
会場：ルーテル市ヶ谷センター
入場料：前売券 2500円 当日券 3000円
【問合せ】0422-31-4611(後援会事務局)/03-3260-8632(教会募金事務局)

■第5回インド・ワークキャンプ 参加者募集

期間：2009年2月24日(火)〜3月6日(金)
対象：18歳以上の健康な方 募集人数：10名程度(選考があります)
参加費：自己負担15万円(総額約20万円)
申込締切：2008年11月2日(日) 必着(2009年1月10日(土)説明会予定)
【問合せ・申込先】日本福音ルーテル教会事務局宣教室(乙守望)
メール：mission04@jelc.or.jp Tel：03-3260-1908 Fax：03-3260-1948